

平成 30 年 8 月 8 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア ル バ ッ ク
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 執 行 役 員 社 長 岩 下 節 生
 (コード番号:6728 東証一部)
 問 合 せ 先 執 行 役 員 IR 室 長 梅 田 彰
 (TEL: 0467-89-2033)

中期経営計画見直しに関するお知らせ

当社は、この度、平成 29 年 8 月に策定した平成 32 年 6 月期を最終年度とする中期経営計画(平成 29 年 8 月 9 日公表)を見直すことといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画見直しに至る背景

現中期経営計画は、「真空技術の総合利用と装置・材料・成膜加工・分析・サービスのシナジー効果の最大化やグローバルなビジネスパートナーとの連携による高い収益性の企業経営」「次の飛躍のための人づくり、果敢に挑戦する企業文化」を「目指す姿」として定め、FPD(フラット・パネル・ディスプレイ)製造装置の旺盛な需要に着実に対応するとともに、スマート社会化の潮流の中でイノベーションに挑戦し、半導体・電子機器事業において、新たな装置需要を創出し続けることで、持続的な成長と企業価値向上に取り組むこととしております。

初年度にあたる平成 30 年 6 月期につきましては、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益が当初予想を上回り、中期経営計画の最終年度(平成 32 年 6 月期)の目標営業利益を上回る結果となりました。

平成 31 年 6 月期以降も、現中期経営計画で掲げる「経営基盤の強化」や「重点戦略」などの計画骨子に変更はありませんが、計画最終年度(平成 32 年 6 月期)の売上高を 2,650 億円、営業利益を 380 億円に見直すことといたしました。

現中期経営計画に続く次の飛躍に向けた「経営改革」に取り組んでおり、平成 35 年 6 月期(5年後)には売上高 3,000 億円、営業利益率 16%を目指すことといたしました。

2. 現中期経営計画の数値計画見直し

(単位:億円)

	平成 30 年 6 月期実績	平成 31 年 6 月期予想	平成 32 年 6 月期計画
売上高	2,493	2,550	2,650(前回目標+150)
営業利益	354	365	380(前回目標+30)

3. 成長戦略

- ①半導体事業はメモリとロジックの両輪で成長
- ②電子機器事業は5G で加速する技術革新をビジネスチャンスに成長
- ③FPD・PV 事業は大型 TV・OLED 投資を中心に長期的継続投資に対応
- ④コンポーネント・マテリアル・カスタマーサポート事業の成長(安定基盤)
- ⑤中国市場における成長

以上

(注)本資料には、当社の計画、数値目標などが含まれておりますが、これらは、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであります。実際の業績等は、業況の変化等により上記計画、数値目標とは大きく異なる場合があります。